

【事前配布】

令和6年度 地域と学校の連携推進協議会（全道）実施要項

1 目的

講義や協議をとおして、子どもたちのよりよい成長を支える「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」の効果的な在り方を理解するとともに、地域と学校とが相互に連携・協働する方法等について、今後の方策を検討するなどして、各地域の実態に応じた地学協働体制の推進を図る。

2 主催

北海道教育委員会

3 期日

令和6年（2024年）6月12日（水） 13:00～16:20

4 会場

〔配信先〕かでの2・7 8階創作実習室

〔受信先〕各所属等（Zoomを活用した遠隔開催）

5 参加対象

- ①教育委員会職員 ②学校教職員 ③保護者 ④地域住民 ⑤学校運営協議会委員
⑥地域学校協働活動推進員 ⑦地域コーディネーター ⑧社会教育関係者 ⑨幼児教育施設職員 等

6 日程

	13:00	13:10	13:30	15:00	15:10	16:10	16:20
受付	開会・オリエンテーション	行政説明	講話 (質疑含む)	休憩	パネル ディスカッション	閉会	

7 内容

- (1) 行政説明「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進について」
(2) 講話「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の効果的な取組について」
＜講師＞文部科学省国立教育政策研究所生涯学習政策研究部総括研究官 志々田 まなみ 氏
(3) パネルディスカッション「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進する意義とその可能性」
＜パネリスト＞北海道地学協働アドバイザー（ファーストナレッジ株式会社） 青田 基 氏
北海道地学協働アドバイザー（厚真町教育委員会） 舩田 沖 永 氏
北海道地学協働アドバイザー（釧路市地域学校協働本部） 森 敏 隆 氏

8 その他

- ・ZoomのミーティングID及びパスコードは、後日お知らせします。
- ・協議会の参加に当たって、配慮が必要な場合は、5月22日（水）までに主催者に申し出てください。
（配慮が必要な例：手話通訳、要約筆記、拡大文字資料、点字資料など）

【事前配布】

令和6年度（2024年度）全道地学協働セミナー 実施要項

1 趣 旨

地域と学校が互いにパートナーとして目標を共有する「地学協働」を推進するため、学校教育関係者や社会教育関係者、地域と学校の協働に携わる方々が「地学協働」について理解を深める。

2 主 催

北海道教育委員会

3 期 日

令和6年（2024年）10月9日（水） 13：30～16：30

4 実施方法

オンライン開催（Zoom）

5 参加対象

学校教育関係者、社会教育関係者、地域と学校の協働に携わる方

6 日 程

13:00	13:30	13:35	13:45	15:15	15:30	16:30
	受付	(1) 開会	(2) 説明	(3) 基調講演	休憩 (4-1) 分科会①：演習	質疑 応答 (5) 閉会
					休憩 (4-2) 分科会②：事例発表	質疑 応答

(1) 開 会

(2) 説 明 北海道における地学協働の取組について

説明者 北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課課長補佐 長岡 広之

(3) 基 調 講 演 学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進について

講 師 明星大学教育学部 特任教授（文科省CSマイスター） 朝倉 美由紀 氏

-----希望する部会に分かれて実施（各部会のブレイクアウトルームで実施）-----

【学校分科会】

(4-1) 演 習 学校運営協議会における熟議の進め方

講 師 北海道地学協働アドバイザー 森 敏隆 氏

内 容 学校運営協議会における熟議についての講義と演習による熟議体験

【地域分科会】

(4-2) 事例発表 町教委が推進する地域学校協働活動

発表者 音更町教育委員会地域連携担当課長 大森 洋臣 氏

内 容 音更町における地域学校協働活動について

-----メインセッションに集合-----

(5) 閉 会

7 申込方法

申込二次元バーコード →



(1) 右の二次元バーコード、または下記URLから **9月30日（月）17時まで** に申込みしてください。

申込みURL：https://www.harp.lg.jp/sbZtYoA7

(2) 複数の端末で参加する場合、端末ごとに申込みしてください。

8 その他

(1) 当日のzoomに係るID等については、お申込みいただいた方にメールでお知らせします。開催1週間前までにメールが届かない場合は、申込みが受理されていない可能性がありますので、お手数ですが、下記問合せ先まで御連絡ください。

(2) 当日の様子は、道教委ホームページに掲載することや報道機関に提供する場合があります。

【申込み・問合せ先】 北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課地学協働推進係 担当：国枝
電 話 011-204-5744(直通) Mail:kunieda.satoru@pref.hokkaido.lg.jp

【事前配布】

学校運営協議会委員の学校訪問について（第1回議案の一部掲載）

お知らせが遅れて申し訳ございませんが、令和5年度第3回会議で意見があった学校訪問についてご提案いたします。

下記の行事の二重下線部が訪問可能です。（今年度終了した行事もございます）

この他にも長期休業（春、夏、冬休み）を除いて、ふだんの日でも訪問可能です。

委員の皆さんには、できるだけ学校との接点を高めていただきたいとの思いから提示しております。

【令和6年度 訪問可能な学校行事】（二重下線部分）

陸別小学校		陸別中学校	
4月 8日	入学式	4月 8日	入学式
4月 14日	参観日・PTA 総会	4月 10日～12日	3年生修学旅行
5月 9日	5・6年生遠足	4月 14日	参観日・PTA 総会
5月 10日	3・4年生遠足	<u>5月 26日</u>	<u>第65回体育祭</u>
<u>6月 8日</u>	<u>大運動会</u>	7月 16日～17日	2年生宿泊研修
月 日	1・2年生遠足	<u>7月 22日</u>	<u>地域参観日①</u>
<u>6月 26日</u>	<u>参観日</u>	<u>7月 23日</u>	<u>地域参観日②</u>
7月 4日～5日	5年生宿泊学習	月 日	1年生野外体験学習
7月 18日～19日	6年生修学旅行	7月 25日	1学期終業式
7月 25日	1学期終業式	7月 26日	夏季休業
7月 26日	夏季休業	～8月 22日	（28日間）
～8月 19日	（25日間）	8月 23日	2学期始業式
8月 20日	2学期始業式	<u>10月 5日</u>	<u>第65回文化祭</u>
<u>日程未定</u>	<u>陸小まつり</u>	<u>12月 6日</u>	<u>参観日</u>
<u>10月 18日</u>	<u>学習発表会</u>	12月 23日	2学期終業式
<u>12月 6日</u>	<u>参観日</u>	12月 24日	冬季休業
12月 20日	2学期終業式	～1月 14日	（22日間）
12月 21日	冬季休業	1月 15日	3学期始業式
～1月 14日	（25日間）	<u>日程未定</u>	<u>小6年生1日登校</u>
1月 15日	3学期始業式	3月 14日	第78回卒業式
<u>2月 7日</u>	<u>新入生児童説明会</u>	3月 24日	令和6年度修了式
<u>2月 28日</u>	<u>参観日</u>		
3月 24日	令和6年度卒業式		

※訪問の際には事前に教育委員会管理担当（27-2123）までにご一報いただくようお願いいたします。

○令和6年度に向けた取組について ～ 1年の流れ

目指す学校像：誰もが通いたい学校、働きたい学校

大目標：目指す学校像を受けて、地域でできることを探る。

【PDCA】

○学校訪問【4月～3月】

【DO】

- ・学校に来て、見てもらう、知ってもらう。年1回でも良い。
（PTA全体懇談会・保護者参観日・地域参観日・学校行事など）
- ・委員の皆さんは、できるだけ学校との接点を高めていただければ…。

①第1回陸別町学校運営協議会【5月下旬】

【PLAN・DO】

熟議のテーマ：誰もが通いたい学校、働きたい学校って何だろう？

③第2回陸別町学校運営協議会【10月】

【CHECK】

熟議のテーマ：中間総括～今現在、目指す学校像になっているか CHECK しよう

④第3回陸別町学校運営協議会【3月中旬】

【ACTION・PLAN】

熟議のテーマ：最終総括～1年間を通して目指す学校像になっていたか？
次年度に向けてどうしていったら良いだろうか？

令和 6 年度陸別町学校運営協議会での学校訪問について

目的：学校との接点を深めるため、委員が実際に小中学校に訪問し、学校の雰囲気や実態の一部を把握し、学校運営に対する考えなどを深める。

方法：下記日程から委員が都合の良い日を選び、それぞれの学校に現地集合し、訪問のあと、参観した感想等の交流を委員同士で行います。

最低、年 1 回は参加をお願いします。

下記日程のつと、教育委員会職員が同席します。

提案する日程

基本的に参観日の第 6 校時にします。

【陸別小学校】 13:45～14:30（第 6 校時）委員の交流は参観終了後

6 月 26 日（水）

12 月 6 日（金）

2 月 28 日（金）→ この日は感想等の交流をしません

【陸別中学校】 14:25～15:15（第 6 校時）委員の交流は参観終了後

7 月 22 日（月）→ この日は感想等の交流をしません

7 月 23 日（火）

12 月 6 日（金）

終了後、校長等を交えて座談会形式で話し合いを行う。

テーマ：今日の学校訪問で感じたこと

*各委員の訪問の日程については、今日委員にお伺いするか、後日私がお電話等でお伺いします。

第1回陸別町学校運営協議会での熟議について

本日の熟議のテーマ

「誰もが通いたい学校、働きたい学校って何だろう？」

- ①誰もが通いたい学校：子どもの目線で、親の目線で、自分が子どもだった頃の目線で話し合いをお願いします。
- ②働きたい学校：自分の仕事、職場に置き換えて考えて見たら…で話し合いをお願いします。

熟議のやり方

- ・2グループに分かれてテーマにそって熟議 所要時間：20分
- ・各グループの進行は教育委員会職員
- ・グループは、前回と同じ小学校チームと中学校チーム
小学校チーム：小田・水口・久保・南・平野・瀧澤次長（当会場）
中学校チーム：伊澤・諸見里・東・土屋・角熊・遠藤主任主査（委員会室）
- ・熟議終了後、教委職員からグループでの意見を紹介する。

お願いしたいこと

- ・自分が思うことを自由にご発言ください。
- ・誰かの意見を聞いて参考になれば、それを吸収してください。
- ・なるべくゆっくりと話してください。（記録のため）

この熟議のゴール

- ・テーマに対してなるべくたくさん意見を出す。
- ・学校の課題に対して解決を目指すものではありません。
- ・委員みなさん自身の考えに役に立つことをたくさんもらってください。
- ・それぞれの立場でできることの実践に向けて考えるきっかけとしてください。

この会議後での教委事務局がすること

- ・委員の意見は主なものをHPにあげる。（教委事務局内で協議後）
- ・委員の意見から地域学校協働本部事業につながることを見いだす。

*熟議とは「参加者が課題について学習・熟慮し、議論をすることによって、互いの立場や果たすべき役割への理解が深まり、それぞれの役割に応じた解決策が洗練され、個々人が納得して自分の役割を果たすようになる」ためのものということです。